

10月 休養ゾーンイベント

10/16(土)
ペーパークラフト工作教室
 @共生センター 大会議室
星空観察会(雨天・曇天中止)
 @大芝生広場
 詳しくはさんだ天文クラブHPを
 ご覧ください
 ☎050-7129-1875
<https://astrosanda.wixsite.com/sanda-astronomyclub>

10/24(日)
もうすぐハロウィン
**かぼちゃでランタンを
 作ってみよう♪**
 @共生センター 大会議室・実習室
 詳しくは ガキッコクラブまで
 ☎090-2594-4135
gakikko_club@yahoo.co.jp

(申し込みを終了している場合がございます)

有馬富士共生センターだより 令和3年 秋号

きょうせい

きょうせい
 てみて
 よって
 うき
 せんだーへ
 いらっしゃーい

編集・発行/三田市有馬富士共生センター 三田市尼寺968
 TEL (079)566-1200 FAX (079)566-1199 Eメール kyosei_u@city.sanda.lg.jp

有馬富士共生センター主催講座 木工教室 講師：渡邊和俊先生

年内開催予定の講座

11月 ・ワイルドな枝スツール

12月 ・Xmasツリー
 ・ワイルドなティーテーブル

お申し込み方法など詳しくは、
 三田市HPまたは「広報さんだ」をご覧ください。
 (申し込みを終了している場合や、やむを得ず予定を変更することがあります。)

先生が丁寧に
 教えてくださいます。

先生が準備した材料で
 一日で仕上げます。

楽しい学びの場で
 素敵な作品を
 一緒に作りませんか？

和気あいあいと
 和やかな雰囲気です♪

今までの木工教室の様子



動画を見ることができます。
 (三田市ホームページ)

グループ紹介

このコーナーは、
 共生センターをご利用
 いただいている皆さんの
 紹介です。



—昨々年のわくわく村夏祭り 共生センターにて

社会福祉法人 風 三田わくわく村

障害の有る無しに関わらず、誰もが地域のなかで、輝いて自立した生活を送る、そんな社会を三田わくわく村は目指しています。その一つとして、地域との交流に力を入れています。地域で開催されるグランドゴルフやウォーキング大会などには積極的に参加し、参加している一人一人は、地域の一員として“まちづくり”を進める思いで、志手原校区の皆さんと一緒に、一生懸命に、楽しく取り組んでいます！
 また毎年、有馬富士共生センターで夏祭りを開催し、約400人程の参加をいただきながら、近隣の方々や団体、ボランティアの皆さんと一緒に盆踊りを踊ったり、たこ焼きやフランクフルトの出店に心を弾ませながら、みんなで楽しいひと時を過ごしています。
 昨年、今年と新型コロナの影響で開催出来ませんでした。来年は「秋祭り」に衣替えをして、ぜひ開催したいですね！😊

～三田わくわく村の世界～ 展示発表

三田わくわく村を利用している皆さんの普段の活動や、日々培われてきた成果を活かして作り上げた個性豊かな作品を、有馬富士共生センターに展示します。活動や作品を通して、三田わくわく村の世界観を、ぜひ体感してみてください。

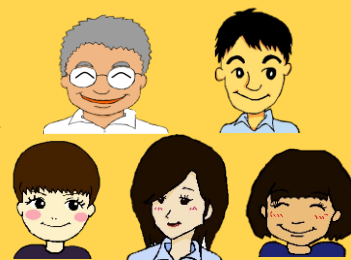
期間:10月18日(月)13:00から
 10月29日(金)12:00まで
 場所:有馬富士共生センター ギャラリー



昨年の展示の様子です

編集後記

きょうせいだより リニューアル2号です。
 取材や編集をとおして、新しく知り学ぶことが多く、大変楽しく作成しています。皆様の感想や、こんな記事を読みたいなどのご要望、ご意見等がございましたら、是非お気軽に窓口の職員にお聞かせください！



三田の 野の花を育てる

共生センターの前庭にはいろいろな花が咲いています。実は3年前から三田の野の花に詳しいヒメカンアオイの会の皆さんに、昔から有馬富士山麓に自生している草花をボランティアで育てていただいています。有馬富士にある共生センターの玄関前には、むかしからこの三田に咲き続けている花が咲いて欲しいと考え、お願いしました。

有馬富士公園のかやぶき民家の近くや山の中から、公園の許可を得て三田の野の花の種をもらい受けました。その種は、芽を出し、大切に見守られています。もともこの前庭に自生していたヒメスミレやアリアケスミレなども自然と芽を出し、野の花々は、時には鹿やうさぎに新芽をかじられながらも、季節ごとに花を咲かせ、昆虫や自然の生き物と共生しています。

前庭を覗いてみると、見頃の花や昆虫に出合えるかもしれませんよ♪

昔から野山にみられる草木は、もともと日本の気候に合っていて、太陽の光と雨露の恵みで自然に育ち、あぜ道や道端で花を咲かせるんだよ。

残念ながら道路の舗装や外来種の影響で、いまでは見かけることも珍しくなってしまったんだ。

ヒメカンアオイの会の皆さんは、小さな芽にも日が当たるように草を間引くなど環境を整えてくださっているよ。いつもありがとうございます！



キランソウ
3月～5月



アリアケスミレ
4月上旬～5月



ヒメスミレ
4月



カタバミ
5月～10月
葉はハート型



ホトケノザ
3月～6月
春の七草



イヌタデ
4月～11月



ナadeshikoと
モンキチヨウ
春～秋



ツバメジジミと
キキョウ
6月～10月



フレモコウ
7月～10月



ヤマトジジミと
ゲンノショウコ
7月～10月



ウツボグサ
6月～8月



ヨメナ
7月～10月



ツマグロヒヨウモンの
さなぎ
蛹



カワラナデシコ
7月～10月
秋の七草



ツマグロヒヨウモンと
ヒヨドリバナ
8月～10月



ヒメカンアオイの会

2003年から有馬富士公園で、ヒメカンアオイや野山に自生している草花を守る活動をされています。ヒメカンアオイは春の女神と呼ばれているギフチョウの幼虫が食べる植物です。(ギフチョウは絶滅が心配されている蝶です。)

古い歴史のある三田で、人々の薬草となり生活とともにあった野の花を、この地で絶やすことなく、未来へと繋げていきたいとの思いで、活動されています。



ヒメカンアオイに卵を産んでいるギフチョウ

ヒメカンアオイの会の活動にご興味のある方は、共生センターまでご連絡ください。

ヒメカンアオイの会の皆さんにお話を伺っていると、「美しい花を見ていると、その昔、花山院のお妃さまも道端や庭に咲く花を綺麗だなと、愛でられたのではないかと、ふと思うことがあるのよ。」とおっしゃっていました。

何百年前の昔の人と、同じ花を見て美しいと感じること、その花が毎年咲き枯れて種を落とし、その命を繋いでここに存在すること、その尊さを感じ、心を揺れ動かされました。

開発が進み、人が自然に手を加えたことにより、三田の野の花は守らなければ絶えてしまう恐れがあることを知り、今私たちにできることは何かと考えてみました。

花を踏まないこと、持ち帰らないこと、花に飛来する昆虫を大切にすること、来年も咲いて欲しいと願うこと。他にもたくさんあると思います。

人と自然が共生する美しい三田を、ここに暮らしている私たち一人一人が守り伝えていきたいです。(有馬富士共生センター)



チャットコーイ
チャットコーイ

有馬富士共生センターは、 有馬富士公園「休養ゾーン」にあります。



コジュケイ



有馬富士共生センターに
飛来したアサギマダラ



風のミュージアム
彫刻家 新宮晋さんの
風で動く彫刻が展示
されています。



ピオトープ池



風の庵 (休憩施設)
建物内のご利用は、
土日祝の10時から
16時まで。



有馬富士共生センター
人と自然の共生や
市民の交流施設として
開設されました。
ロビーには暖炉があり、
冬場には薪を入れます。



有馬富士公園についてのお問い合わせ
兵庫県立有馬富士公園パークセンター
〒669-1313 三田市福島1091-2
電話：079-562-3040

三田市立有馬富士共生センター
についてのお問い合わせ
〒669-1505 三田市尼寺968
電話：079-566-1200